

総社市の人口(2010年11月1日現在)

Lifex

67,479人

かけがえのない私ひとり

みんなの

ちいさくし

remember the past

feel the present

imagine the future



2010.12  
information - vol.24

Soja City  
Council of Social welfare



しゃきよう  
総社市社会福祉協議会とは? (略して 社協)

社会福祉協議会とは、社会福祉法人格をもった民間の福祉団体です。地域において住民が主体となる住民組織と公私の社会福祉に関する活動を行う関係者等により構成され、地域における保健福祉上の諸課題を計画的・協働的努力によって解決しようとする公共性・公益性の高い民間非営利団体で、「誰もが安心して豊かに暮らせるまちづくり」を目的とした地域福祉を推進する組織です。

まちの中で、幸せの再発見  
そして、みんなで知恵を出し合って  
行動してみよう。

ジュニアボランティア  
養成講座を開催

持続可能な社会のつながり

希望の光

子育てセミナーを開催

世代を越えた「共感」の重要性を  
みんなが学びました・・・。  
「わくわくあ〜」と心の響き合っています。

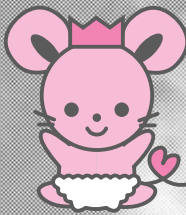


# ハートフルそうじゃ

はな さ  
〜こころの花咲かそう〜

日時：12月11日(土)13:00～16:00

場所：総社市総合福祉センター



- ・事業所紹介
- ・プレイゾーン
- ・販売コーナー など

・スタンプラリー  
(いろんなブースを回ってスタンプを集めよう。  
記念品がもらえるよ!)

とくべつじょうえい  
**特別上映**  
じゅうじょう ちりょう  
**入場無料**

ぼくはうみが  
みたくなりました

自閉症の青年が教えてくれた大切なこと…。心がすこし優しくなれる感動のストーリー。

大塚ちひろ 伊藤祐貴  
石井めぐみ 小畑裕哉 影崎将彦 ビューム(池田真由美)  
大森院美 秋野太作

企画・原作・脚本 山下久仁明  
監督 植田良久  
音楽 堀名邦仁  
主観劇 高橋直樹「まひるのほし」  
(Producer: Haruon)

http://bokuumi.com

主催：総社市地域自立支援協議会・総社市  
お問い合わせ：総社市社会福祉協議会内 ハートフルそうじゃ実行委員会 92-8578

いろいろなイベントたくさん  
みんな遊びにきてね!

ひとりの自閉症の青年と、その周囲の人々が織り成す、心温まるヒューマン・ドラマ  
自閉症の青年と、少し人生行き詰まり気味の看護学生が、偶然から海へ向かう旅に出てしまい、そこで  
様々な人々とめぐり合うハートウォーミングな人間ドラマ。  
「自閉症」という名前だけが一人歩きし始めている昨今、実際の症状や接し方等、ほとんど知られてい  
ない障がいに焦点を当て、ひとりの自閉症の青年を取り巻く人々の人生や心の成長を、時にユーモラス  
に時に厳しく、そして温かく描き出した秀作。

～相談支援センターより～

発達障がい理解講座（基礎編）がはじまりました！



発達障がい理解講座が、10月8日から全4回にわたりはじまりました。川崎医療福祉大学の小林信篤准教授を講師に招き、各回テーマに基づき講義を行います。

第1回は「発達障がい児の行動の特徴」と題し、見た目では理解されにくい発達障がいについて、行動面の特徴とそれを理解することの大切さを学ぶことができました。

受講者の皆さんからも好評をいただいております。今後も継続して開催していきたいと思っております。

各回50名の受講者を募集しましたが、既に全回とも定員に達しており、現在は募集を締め切っております。

来年度以降も理解講座を開催する予定ですので、よろしくお願いたします。

～地域活動支援センターゆうゆうより～

～お菓子づくり～

今回はレーズン入り蒸しパンをつくりました。以前、一度作ったことがあるので、みんなの手際も良く、おいしい蒸しパンが出来上がりました。



～手工芸～

ボランティアさんに教えてもらいながら、一緒に、牛乳パックを使った物入れを作りました。いろいろな形のものが出ています。

《お問い合わせ先》

- ☆地域活動支援センター ゆうゆう  
総社市清音軽部1135（清音福祉センター）  
TEL 92-2566 FAX 92-8162
- ☆相談支援センター ゆうゆう  
総社市中央1-1-3（総社市総合福祉センター）  
TEL 92-8578 FAX 94-0089



ゆうゆうに対するご意見・ご要望や、活動に関するお問い合わせはこちらまでよろしく!



つながり  
ひとひと  
**池田地区社協**

『はずむ声  
やすらぎサロン  
いと楽し』

現在、池田地区には4か所のふれあいサロンがあります。今回は下槇谷地区『サロンやすらぎ』を紹介します。  
「一人の福祉委員の地元、高齢者のふれあいの場を」とこうして生まれた、サロンやすらぎも9月で13回目を数えることになりました。



超える大所帯になり、毎月1回、公会堂で開催しています。  
地元婦人部の理解あるスタッフ6人と、男性2人でお世話役を頑張っています。参加者が多い時で20人ほどで、女性スタッフの四季折々の楽しい食事の準備や、ゲーム、折り紙づくり、春には、お花見など。

また、警察署のオレオレ詐欺にたまされな  
いたための講演やカラオケ、素人演芸、神楽、手品などなど。  
先月は、愛好会の皆さんの傘踊りなど、地域の高齢者の皆さんに喜んでいただけているんです。高齢者同士のおしゃべりや情報交換を通じて笑顔の絶えない楽しいひとときを過ごしています。  
なお、11月からは市介護保険課の協力を得て「いきいき百歳体操」も始める予定です。



つながり  
ひとひと  
**常盤地区社協**

ふれあいの輪を広げる地域づくり  
「第2回常盤地区福祉まつり」



常盤地区社会福祉協議会では、昨年大盛況だった「常盤地区福祉まつり」を11月19日(金)午前10時からやすらぎの家で開催を予定しています。  
今年で2回目ということで福祉まつりをさらに盛り上げるために、「常盤地区福祉まつり実行委員会」を立ち上げ、常盤地区社会福祉協議会 守屋 浩会長を委員長とし、民生委員児童委員協議会、愛育委員会、栄養改善委員会、福祉委員会、婦人会、遺族会など常盤地区で活動されている各団体の代表者に委員として参加していただき、毎回、福祉まつりの内容について熱のこもった意見交換が行われています。  
現在、「第2回常盤地区福祉まつり」で

予定している内容は、各団体によるおにぎりやちらし寿司、焼きそばなどの販売のほか、常盤地区で行われているサロン活動の紹介、演芸や講演会など老若男女問わず誰もが楽しめる企画を考えています。  
今年度開催予定の「第2回常盤地区福祉まつり」も多くの参加者に楽しんでいただき、常盤地区の『ふれあいの輪』がより一層広がっていくことを期待しています。



つながり  
ひと ひと  
山田地区社協

地区の中での情報の共有を考える



「こんばんは〜」の挨拶で集まってくださる民生委員・福祉委員・地区の代表者・市域包括支援センター・地区社協など関係者で構成されている小地域ケア会議委員。

この会議は2か月に1度、夜7時から地区の公民館で行われます。

今、取り組んでいることは、

見守り活動はもちろんですが、70歳以上のひとり暮らし・高齢者世帯の個人台帳作成です。この台帳の作成にあたっては、対象になる方と委員さんとの「つながり」が大変に重要になってきます。

「何しろ巷でやかましく言われている個人情報ですから…」

しかし、今回、対象になる方全員同意が集まりました。これもお互いの信頼関係が繋がっている証拠だと確信しています。

『いつまでも我が家で元気に暮らしていただくため』



私たち委員は、出来上がった、この台帳をより有効に活用しなければと思っています。

また、この取り組みをより広く理解していただくために、戸別に配布した「山田地区社協だより」にも小地域ケア会議の内容をわかりやすく掲載しています。

地区全体で住み良い「私たちの山田」を目指します。

氏名	住所	電話番号	年齢
性別	世帯主	職業	備考
健康状態	介護状態	認知症	
その他			

※ 個人情報として厳格に管理し、関係者のみで利用し、目的外に提供することはありません。

つながり  
秦地区社協

園児とのつながり & 防災意識の共有



7月7日、七夕さまの日に秦幼稚園の地域とのつながりの一環で民生委員、福祉委員が笹やきゅうり、なすを持って訪問しました。園児たちと馬や牛を作ったり願いごとを書いた短冊を結び付けたたり、歌を唄ったり、福祉委員さんの手品を楽しんだりしました。明るい園内、明るい園児たちで安心して帰路につきました。

たから  
地域の宝



9月27日、秋晴れの朝、小型バスで民生委員・福祉委員等合同で総社市内を移動研修しました。まず、今年の7月にオープンした「ときわ公園（防災機能を兼ね備えた公園）」に行きました。5000人の3日分の飲料水を貯水できる耐震性貯水槽が地中に埋め込まれていたり、非常食などの備蓄倉庫に災害対策用乾パンも保管されていました。我が秦地区の防災機能は、どうなっているのか心配になりました。

また、消防署では、住宅用火災警報器の設置の重要性の話をお聞きしました。このことをひとり暮らし



【ときわ公園備蓄倉庫内】

高齢者に給食お弁当を渡す時、情報周知のため話し伝えてみようと思いました。

# 学 習 支 援

## 社

## 福

## 事

## 業



障がいのある方、ボランティアの方たちの話を聞きました。  
今後は、「地域の福祉を探そう」と市内福祉探検を予定しています。



市内の小中学校では、様々なプログラムで「福祉学習」が行われています。  
みんなで「福祉」について考え、地域の福祉活動に携わっている方、



ジュニアボランティア養成講座  
 福祉  
 不登校と福祉を学ぼう

ジュニアボランティア  
 養成講座開催中!!



連絡協議会

ボランティア

9月6日(月)に、市内での移動研修を行いました。

グループホーム「苺の里」で、窓ふきのボランティア活動をし、施設での活動内容を聞きました。

また、ボランティアグループ「おもちゃの病院」代表 吉田護さん宅へ、太陽パネルと風力発電を利用した、畑への水やりを見せていただきました。

今回は、「福祉と環境について、学習ができた」と、会員の方も喜んでいました。

【おじゃマルポ】

# アイデイ



Normalization▶

ノーマライゼーションとは、すべての人が普通の生活ができるよう、ともに暮らし、ともに生きていくことをめざす社会が正常な社会であるという考え方です。

## アイデイでは・・・

現在4歳から高校生までの障がいのあるお子様が、利用しています。苦手なことに、一生懸命取り組んだり、得意なことを更に伸ばしていくことを目指しています。

また、食事、着脱、排泄といった基本的な生活習慣についても、保護者の方と共に支援方法を考えていながら自立できるように支援していきます。



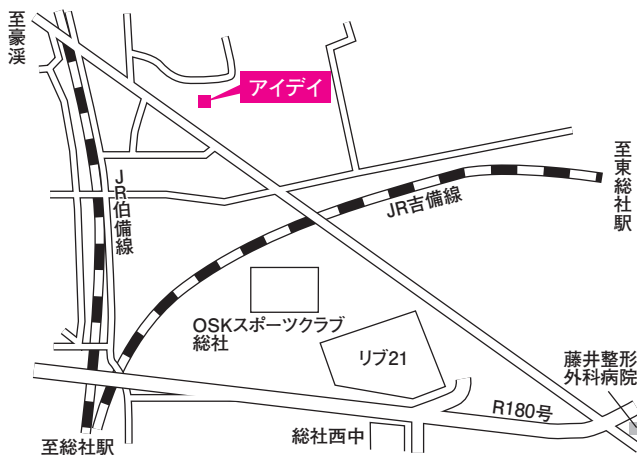
【夏休みのプール活動の様子】

### 活動内容

- ♥ **制作活動** (牛乳パックや発泡トレーを使った制作・ぬりえ・お絵かきなど)
- ♥ **おやつ作り** (ホットケーキミックスで作れる簡単おやつ)
- ♥ **調理活動** (子どもたちにも、できる範囲内でお手伝いしてもらいます)



### 【所在地のご案内】



### お問い合わせ先

アイデイ  
〒719-1156 総社市門田507  
電話 93-3311  
FAX 93-3014



### ご利用時間

平日： 13:00～18:00  
土・日・祝： 10:00～16:00  
長期休暇（春休み・夏休み・冬休み）  
10:00～16:00



## 社会福祉協議会 居宅サービス事業所の紹介をしま～す！

### 1 居宅介護支援事業

介護保険の相談にのったりサービスの計画を立てるお手伝いをします。

### 2 訪問介護事業

サービス計画に沿ってご利用者の自宅に訪問して家事や介護のお手伝いをします。



居宅サービス事業所の職員です！

**ピンク色**のトレーナー・ポロシャツがユニホームです。  
お気軽に声をかけてください。よろしくお願ひします。



### 3 福祉用具貸与事業

自宅をご利用される介護用ベッドや車イスなどの貸し出しをします。



**【お問い合わせ先】**

**総社市社会福祉協議会居宅サービス事業所**

**電話 92-8565**

今秋の被表彰者（福祉部門）

10月7日（木）に平成22年度岡山県総合社会福祉大会の開催及び11月13日（土）に第3回総社市保健福祉大会などが開催され、多くの保健福祉関係者等が参加し、功労のあった方々に表彰状や感謝状が贈られました。

（敬称略）

- ◎中央共同募金会長表彰  
山手地区社会福祉協議会  
岡山県知事表彰  
丸山津久志（秦）  
でんでん虫の会（門田）のぎくの会（井尻野）
- ◎岡山県保健福祉部長表彰  
かなりやの会（三輪）  
川井富佐夫（真壁）矢吹美智子（福井）  
平井貞女（倉敷市西阿知町）  
永野美和子（門田）
- ◎岡山県民生委員児童委員協議会長表彰  
中島毅彦（北溝手）岩佐一正（溝口）
- ◎岡山県社会福祉協議会長表彰  
中村忠雄（日羽）黒瀬芳枝（種井）  
岡崎和子（清音柿木）
- ◎岡山県社会福祉協議会長感謝  
すみれの会（秦）総社つゆ草の会（泉）  
皇髮会（三輪）光心会（溝口）
- ◎岡山県共同募金会長表彰  
総社美容組合（美袋）  
岡弘（上林）西川芳子（山田）

◎総社市長表彰

- 平田佐代子（槇谷）
- 松永宅司（真壁）林佐和子（西阿曾）
- 小野千加代（倉敷市玉島長尾）
- 小坂早苗（倉敷市平田）
- 幸町和幸会（総社二丁目）
- 本町恵比須クラブ（総社一丁目）
- 上林お達者クラブ（上林）
- 横田秀夫（中原）河田恵理子（西阿曾）
- 福田達雄（山田）阿部叔美（三輪）
- 延原良純（倉敷市上東）小倉喜代美（西阿曾）
- 渡邊敏和（新本）剣持武子（西郡）
- 小野敬一（真壁）高木光恵（真壁）
- 岡弘美（三須）鬼の城ボランティア（久米）
- 東中スマイル（井手）
- ◎総社市社会福祉協議会長表彰  
小野典子（西坂台）藤井慶子（中央二丁目）  
富岡古年（黒尾）白神三子（久代）  
赤木京子（山田）井上正子（下倉）  
三村佐和子（宿）守安真由美（上林）  
藤井美佐代（里庄町里見）橋本典子（秦）  
平松秀昭（上原）高見孝子（中央四丁目）  
大石信子（中央五丁目）  
海老原生規哉（清音三因）守長君子（新本）  
江口直美（駅前一丁目）西川光典（山田）  
中島純子（北溝手）山本昌司（総社二丁目）  
松山彌八（泉）脇本晃（清音軽部）  
伊藤昭三（清音柿木）小西和義（山田）  
小田隆子（中原）  
秦地区福祉委員会
- ◎総社市社会福祉協議会長感謝状  
光畑嘉代子（長良）土井しのぶ（泉）

◎総社市社会福祉協議会報奨基金規程による  
総社市社会福祉協議会長表彰

- ・善行者 西崎陽三（清音三因）
- ◎山陽新聞社会福祉優良従事者表彰  
小倉友子（中央四丁目）
- 柵屋裕子（窪木）
- 総社フオークダンスクラブ（山田）
- おりひめ（門田）介護ボランティア苺（久代）
- 藤酔会（総社）要約筆記吉備うさぎ会（富原）
- のびのび会（中央二丁目）
- 大正琴・夕月の会（山田）JIN（中原）
- 三輪ボランティア（三輪）
- さくばらホームOB会（新本）



【第3回総社市保健福祉大会の様子】

おめでとうございます



種別	金額	寄付者	住所
一般寄付	4,634円	アステアユニオン	真壁
香典返し	30,000円	角野 忠義 亡妹(栄)	見延
	10,000円	竹田 敏治 亡父(清)	影

※ご了承をいただいた方についてのみ、原則として紙面上に寄付金額を掲載させていただきます。

下記については、金額の多寡にかかわらずご希望により寄付金額は掲載していません。

寄付者	住所	寄付者	住所	寄付者	住所
▽香典返し				▽篤志寄付・篤志品	
天野 浩 亡妻(友子)	井尻野	守安 功次 亡母(操)	上林	匿名	福井
横田 通恵 亡夫(満定)	泉	中村 史郎 亡父(達夫)	三輪	匿名	久米
小原 裕江 亡夫(功)	秦	本行 潔 亡母(満喜江)	見延	山本 浩史	岡谷
横田 敏隆 亡妻(貞子)	中原	加藤 親恵 亡母(熊野)	真壁		
小林万亀弘 亡父(昭)	清音柿木	松森萬喜子 亡父(一郎)	井尻野		
井田 直巳 亡父(静一)	種井	菅 益恵 亡夫(行雄)	泉		
塚常 泰子 亡義母(綾子)	日羽	中村 幸策 亡長男(泰盛)	駅前一丁目		
森谷 秀男 亡母(百合子)	倉敷市	岩佐 一正 亡母(充)	溝口		
中山 博 亡父(幸市)	下倉	矢吹 清志 亡母(納富子)	岡崎市		
佐野 裕二 亡義父(和男)	清音軽部	光畑 綾女 亡夫(一郎)	長良		
高杉 真人 亡父(信一)	日羽	栢野雄喜人 亡父(登)	久米		
角田 修 亡母(孝子)	見延	平田 千尋 亡父(武)	久米		
秋山馬佐子 亡夫(稔)	小寺	尾川 康文 亡父(忠幸)	井手		
加藤 正徳 亡妻(愛子)	総社	室山 好徳 亡母(君代)	宿		
片山 浩之 亡父(義弘)	下林	野瀬 一樹 亡母(總子)	中央一丁目		
野瀬 伸行 亡兄(勤)	秦	石井 秀男 亡母(ユミ)	西阿曾		
林 伸樹 亡父(博士)	泉	高杉 正道 亡母(杉子)	中尾		
江口 仁計 亡母(玉子)	清音三因	高木 浩二 亡父(清人)	真壁		
岡 方子 亡夫(顕)	下倉	山下 紀一 亡父(博三)	久米		
高木 正治 亡父(正夫)	愛知県東郷町	坪井 浩知 亡母(露子)	秦		
在間 幸子 亡夫(一義)	横谷	匿名	秦		
劔持 郁男 亡祖母(正子)	西郡	三上 信夫 亡母(静賀)	神戸市		
福田美美子 亡夫(隆久)	久代	田中 正二 亡父(叔朗)	新本		
横田 進 亡妻(多美子)	地頭片山	杉生 訓昭 亡祖父(正直)	三須		
小西 正夫 亡妻(玄子)	井尻野	安田 泰二 亡母(仲野)	日羽		
武田 守 亡父(桂三)	東阿曾	茅原 慎二 亡母(文子)	門田		
塩津 容子 亡夫(義和)	総社三丁目	守屋 正人 亡妹(和子)	溝口		

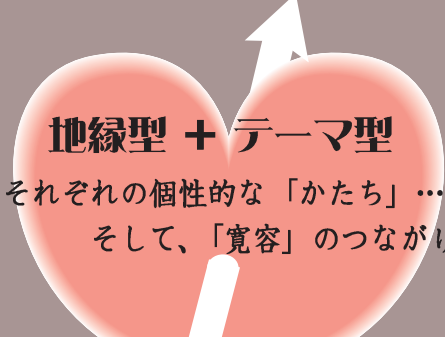
(平成22年7月20日から平成22年10月20日まで 敬称略)

訂正とお詫び  
 ・平成22年9月発行のみんなのちいきふくし23号11ページのご寄付の欄で、「横田直隆(好清)の誤りでした。」  
 父(好清)は、「横田直隆 亡長男(好清)の誤りでした。」  
 ここで訂正し、お詫び申し上げます。

総社商店街  
 心を詠みつくぐ

「れとろーど'10」に「ふくし家」として参加！  
 ありがとうございます

市社会福祉協議会は、9月25日(土)26日(日)に開催された「れとろーど」に休憩所・福祉バザーとして参加させていただきました。両日のバザーでの売り上げは福祉のために活用させていただきます。バザーの品物を提供してくださった方、また、当日品物を買っていただいた方、ご協力ありがとうございました。



地縁型 + テーマ型  
それぞれの個性的な「かたち」…  
そして、「寛容」のつながり

ちいきふくし  
民力のパワー

このページは、自然の恵みである「光源、太陽光」を利用した「ソーラーパネル」をイメージしています。光の三原色は、赤、青、緑です。この三色が重なると、白色になります。

地域福祉の推進に必要な三つの力を光の三原色に例えるならば、自助が赤色、公助が青色、共助が緑色と、表現することもできます。この三つの力が、重なり合うと可能性を秘めた「希望の光」となります。地域で行われているふれあいまつり（三世代交流）やふれあいサロン活動を通じて地域の「希望の光」の輪がつながり続けています。

「みんなのちいきふくし」は、赤い羽根共同募金  
配分金の一部を利用して発行しています。



この広報紙は再生紙を使用しています。